

第14回、第15回専門会合における 指摘事項について

第16回 料金制度専門会合
事務局提出資料

2022年8月8日



第14回・第15回の当専門会合における指摘事項について①

- 第14回・第15回専門会合でいただいた主なご意見は以下のとおり。

目標計画

- ✓ レジリエンス強化の観点で、分散グリッド化について取組目標や計画があれば教えて欲しい。（華表委員）
- ✓ 消費者の最大の関心事は需給ひっ迫を踏まえた安定供給。カーボンニュートラル目標に向けて、一送として再エネ・レジリエンス強化の費用が必要なことは理解。一方、社会に対してどのようにPRし、コンセンサスを取るかが重要。（河野オブ）
- ✓ ステークホルダーとの対話は重要。回答がいずれも「検討する」になっているのは、すぐには対応できないからだと思うが、将来的に結果を教えて欲しい。また、できたことだけでなく、できなかったことを示すことも重要。（松村委員）
- ✓ 再エネ・脱炭素化に向けた能動的な取り組みや、これまでの技術的投資を踏まえて見えてきた課題（フリッカ対策等）があれば教えて欲しい。（華表委員）
- ✓ 需要見通しについて、国の各種計画（2050年カーボンニュートラル目標等）を勘案してバックキャストした場合の需要推移との整合性についてどう考えているか。（北本委員）

前提計画

- ✓ 需要減について、人口減や節電浸透もあるが、電化が進んでいないこともあるのではないかと。電化の遅れに関するNW側の課題については努力が必要ではないか。（松村委員）
- ✓ 需要減少の一因としてコロナ禍が挙げられていた。送配電に関しては低圧の方が遥かに託送料金が高いため、需要が増える場合の収入増への寄与も大きいと考えられるが、それを打ち消す負のインパクトはあるのか。（松村委員）
- ✓ 各社とも需要減少見込みだが、自動車業界でEV化もあり、どこまで減るのか疑問。（川合委員）
- ✓ 需要の第二規制期間以降の見通しは如何。（梶川委員）
- ✓ 再エネ導入量及び場所は、どのようなプロセスで、どのようなデータを基に決めているか。（村上委員）

第14回・第15回の当専門会合における指摘事項について②

- 第14回・第15回専門会合でいただいた主なご意見は以下のとおり。

費用計画

- ✓ 経済安保の観点で、一送の基幹設備は特定重要設備に指定されているが、法令上の義務となっていない既存分についても今後審査対象に含まれる可能性もある中、対策及びその費用は計画に織り込んでいるのか。（安念委員）
- ✓ サプライチェーンの観点で、調達先の複線化や備蓄なども検討しうるのではないか。1社のみで対策するのは非効率のため業界全体で取り組むのが重要では。このような観点での協力体制及びその費用は織り込んでいるか。（安念委員）
- ✓ 会社ごとにOPEXなどの増減が異なる。その理由も詳しく見るべき。（松村委員）
- ✓ 調整力の調達コストが今後上がるとの説明に関し、フレキシブルな調達を実現するための制度改正であったはず。（松村委員）
- ✓ 既存の発電設備で専用線を結び、大型需要家に送電している場合、再エネ電源に置き換わることにより必要となる新たな対策費用について盛り込んでいるか（フリッカ対策等）。（川合委員）

第14回・第15回の当専門会合における指摘事項について③

- 第14回・第15回専門会合でいただいた主なご意見は以下のとおり。

設備投資計画

- ✓ プッシュ型の再エネ推進は極めて重要。各社計画を伺いたい。（華表委員）
- ✓ プッシュ型の取組は非常に良い。単に高経年のみを考えるのではなく、再エネ普及も見据えて取り替えていくことが重要。（圓尾委員）
- ✓ 高経年化対策については、リスクを低くすればよいというものではなく、安定供給上必要な部分は確保しつつ、コスト見合いで最適解を見つけることの重要性を伝えてきた。この点をどのように考えて計画立てているのか教えて欲しい。次回規制期間以降は、各社が蓄えた知見を踏まえた分析を行い、適切なリスク量を測ることが必要。（圓尾委員）
- ✓ 系統ごと・年度ごとの投資額にバラつきがある場合、その要因をしっかり説明して欲しい。（松村委員）
- ✓ 分散グリッド等ネットワーク自体を変える取り組みがあれば教えて欲しい。（華表委員）
- ✓ 施工力に関しては北陸からEリーグ北陸の報告があった。定量的な効果が出ている施策があれば教えて欲しい。（男澤委員）
- ✓ 施工力については懸念事項。北陸の取組や効果は興味深く、グッドプラクティスになるのではないかと。（東條委員）
- ✓ 施工力の全国大での協調について、具体案があれば教えて欲しい。事業者自らがデータ採録上の課題を克服し、標準化・共通化することが重要。独禁法の問題もあるかもしれないが、データ採録の進展は施工力改善に資するか。（北本委員）

第14回・第15回の当専門会合における指摘事項について④

- 第14回・第15回専門会合でいただいた主なご意見は以下のとおり。

次世代投資計画

- ✓ 研究開発が必要なものもあると思うが、そのコストはどのように織り込んでいるか。既存技術で運用可能な場合、今後コスト減少に繋がると考えているか。具体的にエビデンスを示して欲しい。（平瀬委員）
- ✓ 「長期的にどのような計画を立てており、それを達成するには、今後5年間でこうするのが適切であるためこの費用を計上する」といったように、長期的計画を含めて適正性を説明して欲しい。（圓尾委員）
- ✓ デジタルトランスフォーメーションについて、スマートメーター、ドローン等を使って、どのように運用するのかについて説明して欲しい。また置き換えによる効率化を踏まえた収入等、長期的な見通しを踏まえたコストも教えて欲しい。（平瀬委員）
- ✓ AIを活用した営巣検知システムについて、これまで研究による対策・その効果と、それを踏まえて現在も対策が必要であること等を全体で説明すると分かりやすい。（松村委員）
- ✓ 送・変・配一体で電圧を集中制御することはいいポイントだと思うが、送配はかなり性格が異なるので分けて考えるべきとの議論もある。各社の考えがあれば聞かせて欲しい。（松村委員）
- ✓ データ共有はデリケートな問題だが、送配電NWの高い公益性に鑑みると、規制当局がガイドラインを示すことも考えられるのではないか。（東條委員）

第14回・第15回の当専門会合における指摘事項について⑤

- 第14回・第15回専門会合でいただいた主なご意見は以下のとおり。

効率化計画

- ✓ 要員効率化について、事業環境の変化を受けたりスキリング・リカレント教育など人員の士気を高める部分はどのように計画に反映しているか。（北本委員）
- ✓ ドローン利用によるコスト増は当然だが、コスト削減のために取り組んでいるものだと思う。効果も一緒に示した方が説得力が増すのではないか。（松村委員）
- ✓ ドローン活用について、どの程度の期間でどの程度活用できるかの見込み及び調達方針・サイバーセキュリティ対策の有無について教えて欲しい。（男澤委員）

その他

- ✓ レートメイクにおける基本料金と従量料金の比率の設定次第では需要変動時に収入差が出てくる。需要変動影響を抑えるための努力を各社が怠っていないか、注意深く見るべき。（松村委員）

委員・オブザーバーの御指摘事項の反映について

- 第14回・第15回の当専門会合における、各一般送配電事業者が策定した事業計画に対しての委員・オブザーバーの御指摘事項については、今後の検証に当たって重視すべき事項及び当面の検証作業を進めるに当たっての検証作業項目に反映することとしたい。
- また、専門会合における議論や、今後の検証作業を通じて、各一般送配電事業者から説明があった事項のうち重要なものは、事業計画に追記する等の対応を、各一般送配電事業者に対して今後求めることとしたい。